

睡眠時無呼吸症候群(SAS)

検査 として 治療



集中力の低下



日中の眠気



疲労感

ところで、どんな病気なの???

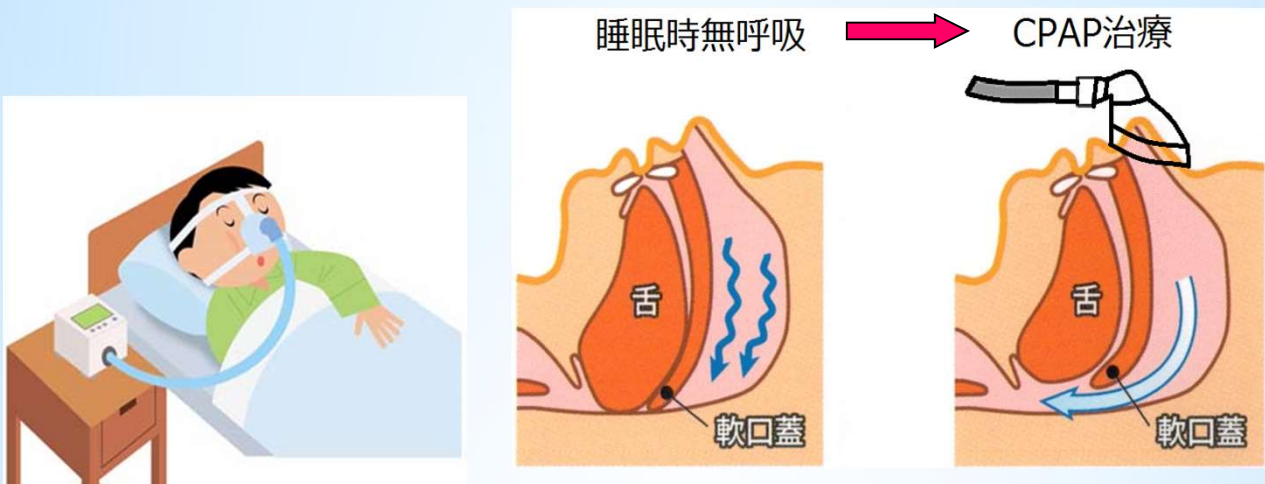
睡眠時無呼吸症候群(Sleep Apnea Syndrome:SAS)とは睡眠中に10秒以上の呼吸が停止、つまり無呼吸が一晩に30回以上、もしくは1時間に5回以上繰り返される病気です。主に、いびきや昼間の眠気、熟睡感がない、起床時の頭痛などの症状があります。また、SASは生活習慣病と密接に関係しており、放置すると生命の危険に及ぶこともあります。また、SAS特有の眠気は交通事故を起こす危険もあり、早期に適切な治療をすることが大切です。

治療方法はあるの???

現在最も広く使われている治療法は、CPAP(シーパップ)治療です。
中等症～重症の方は、CPAP療法が第一選択です。
軽症の方は、生活習慣の改善(減量や飲酒を控えるなど)により
症状が軽減したり、無くなることもあります。

CPAP治療(持続陽圧呼吸療法)とは...

CPAP療法とは、睡眠中、鼻に装着したマスクから気道に空気を送り込み、
気道の閉塞を防いで無呼吸を無くす治療法です。



CPAP治療(持続陽圧呼吸療法)の効果

CPAPを使うと、ほとんどの患者さんが使ったその日からいびきをかかなくなり、
朝もすっきり、昼間の眠気も軽くなり、消えることもあります。
またCPAP療法による降圧(血圧を下げる)効果の報告もあります。
重症の睡眠時無呼吸の患者さんでは、
CPAPを使わなかった患者さんより長生きをすることも分かっています。

CPAP療法は、めがねをかけていることと同じで、
治療器を使用していなければ無呼吸はなくなり効果がありません。
また慣れるのに2～3ヶ月かかる場合もあります。

CPAP治療は検査を行い一定の基準を満たせば健康保険の適用になります。
(簡易検査で無呼吸・低呼吸が、一時間40回以上、精密検査で一時間20回以上)
保険適用とはCPAP装置を購入するのではなく健康保険を使用したレンタルになります。
但し、そのためには、毎月1回の外来受診が必須となります。

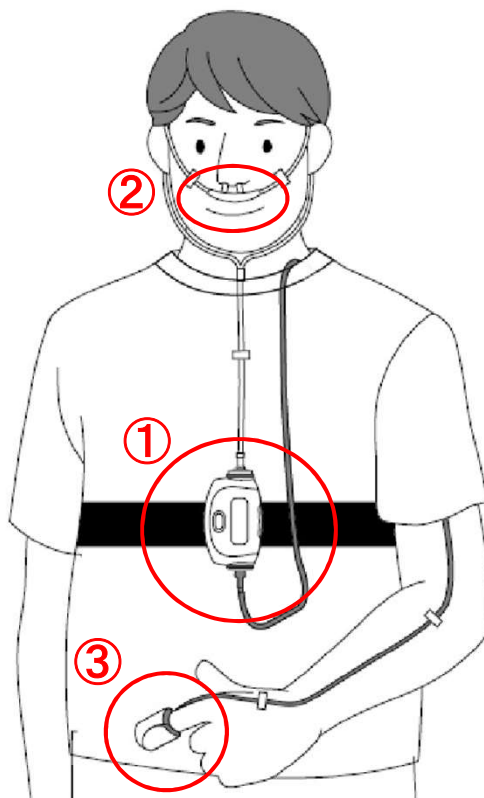
睡眠時簡易検査とは…

専用の検査機器を一晩、腹部に付けて寝ることで睡眠時無呼吸症候群かどうかを調べることができます。

ご自宅で簡単に検査でき、この検査は保険適用になります。

検査はとても簡単 ♪ ♪ ♪

- ① 腹部に測定器を装着
- ② 鼻センサを付ける
- ③ 指センサを付ける
- ④ スタートして寝る



睡眠時簡易検査の流れ

1、検査日程の調整を行います(詳しくは窓口にて)



2、検査機器をお渡しします

※ 10～15分程取扱い説明を聞いていただきます



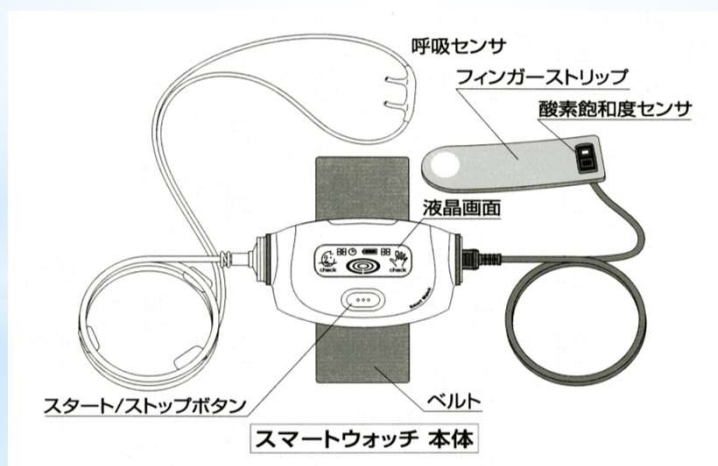
3、自身で就寝前に装着し検査(4時間以上の睡眠を1晩or2晩)



4、検査終了後、検査機器を担当者が回収、又は、当院窓口
返却いただきます

↓ ※約10日～14日程で検査結果が出ます

5、当院に受診して頂き、検査結果を確認



検査ご希望の方はお気軽にお申し出ください

たけお耳鼻咽喉科

tel.059-334-0187

三重県四日市市小杉新町153番7